

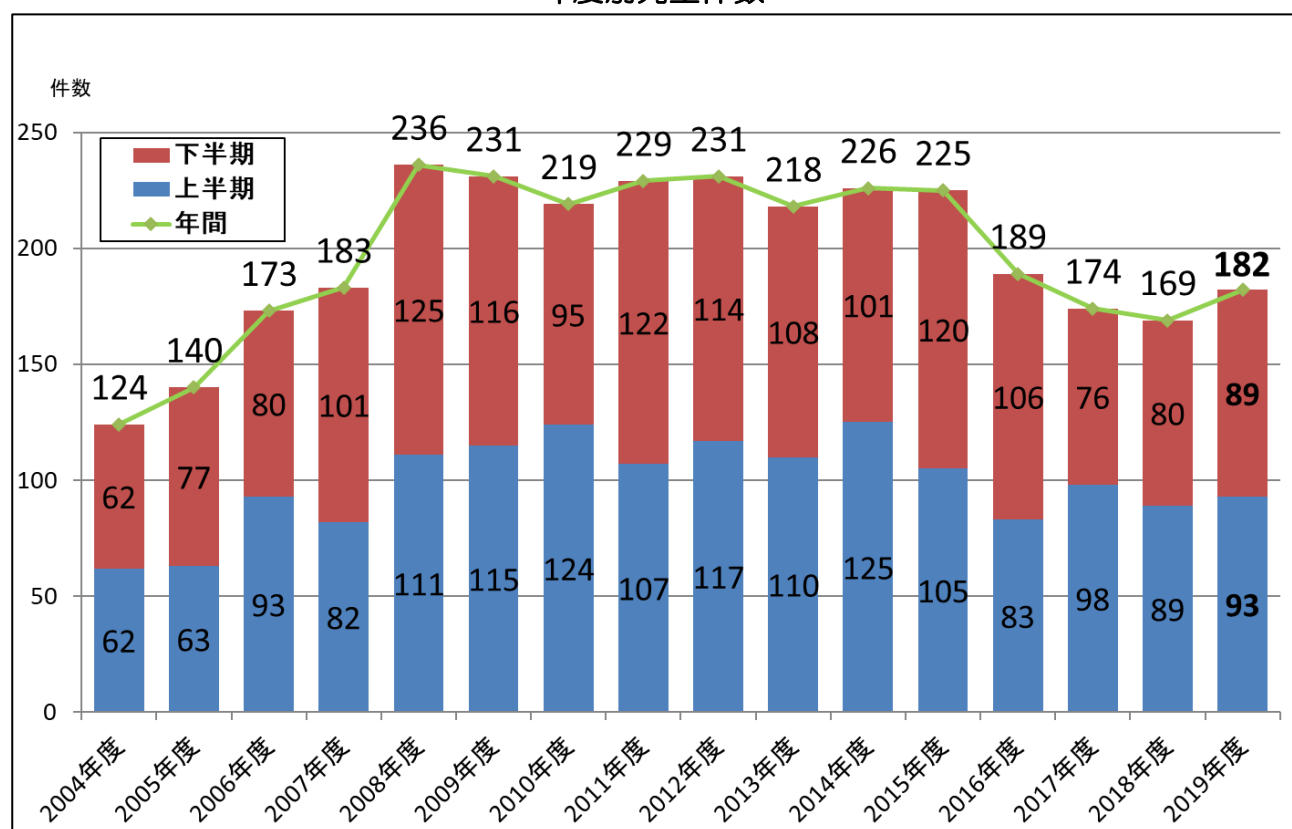
鉄道係員に対する暴力行為の件数・発生状況について (2019年度/大手民鉄16社)

日本民営鉄道協会では、大手民鉄16社（東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京急、東京メトロ、相鉄、名鉄、近鉄、南海、京阪、阪急、阪神、西鉄）における2019年度（2019年4月～2020年3月）に発生した駅係員や乗務員等の鉄道係員に対する暴力行為の件数について集計を行ったところ、暴力行為の発生件数は182件（上期93件、下期89件）と、前年度に比べて13件増加となり、依然として高い水準で推移しています。

暴力行為が発生する状況としては、鉄道係員が迷惑行為を注意した時や、はっきりとした理由が見当たらないケースが多く、時間帯については夜・深夜帯（17時以降）に集中して発生しています。また、加害者年齢は幅広い年代に分布しております。

犯罪である暴力行為をなくし、安全で快適な鉄道を維持するため、当協会では引き続き啓発ポスターの掲出など各種の取り組みを実施してまいります。

年度別発生件数



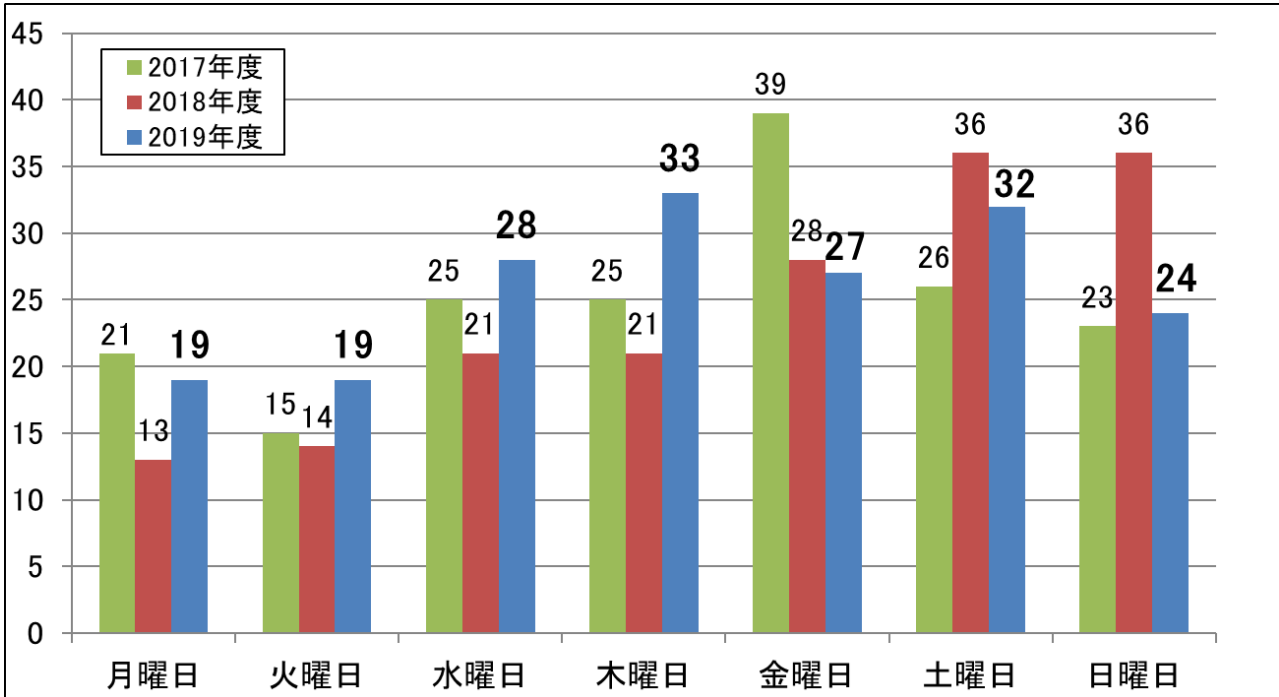
(ご参考) 以下の項目の集計結果を別紙にて紹介しています

1. 曜日別 発生件数
2. 時間帯別 発生件数
3. 主な場所別 発生件数
4. 主な契機別 発生件数
5. 加害者年齢
6. 加害者の飲酒状況
7. 具体的事例

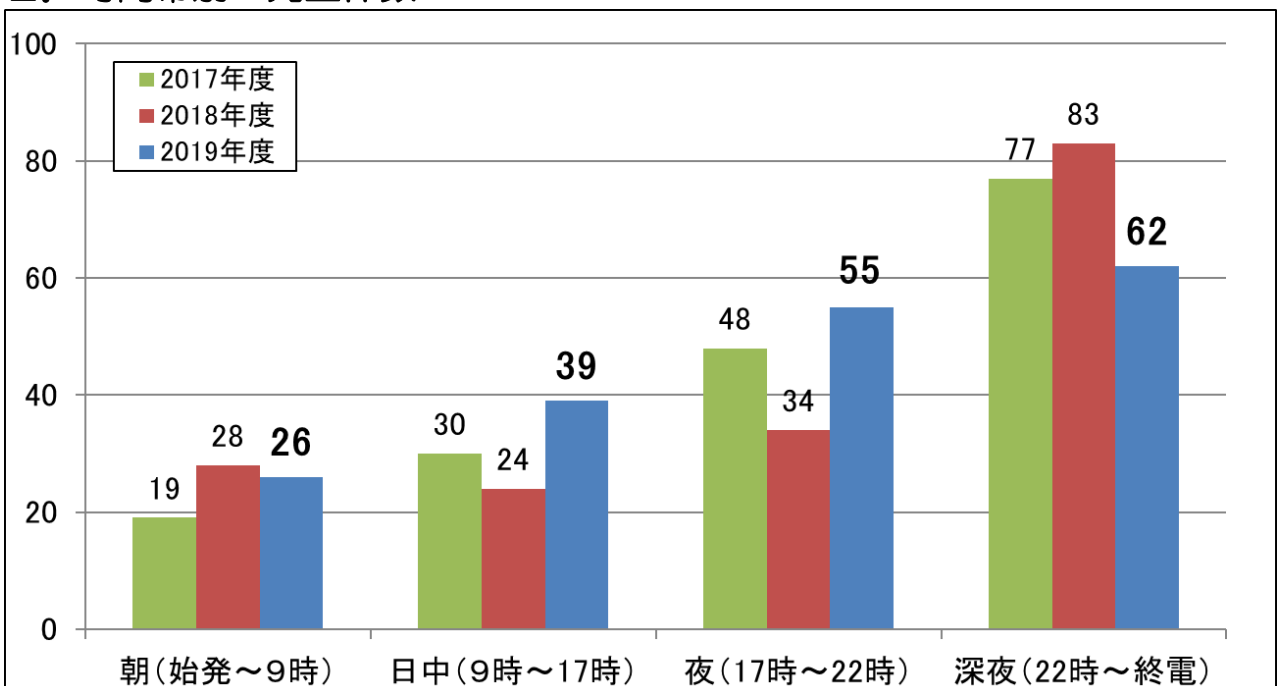
※なお、別紙に記載しておりますこと以外の詳細な内容や件数は、公表しておりません。

鉄道係員に対する暴力行為の発生状況別件数・具体的事例等（詳細）

1. 曜日別 発生件数

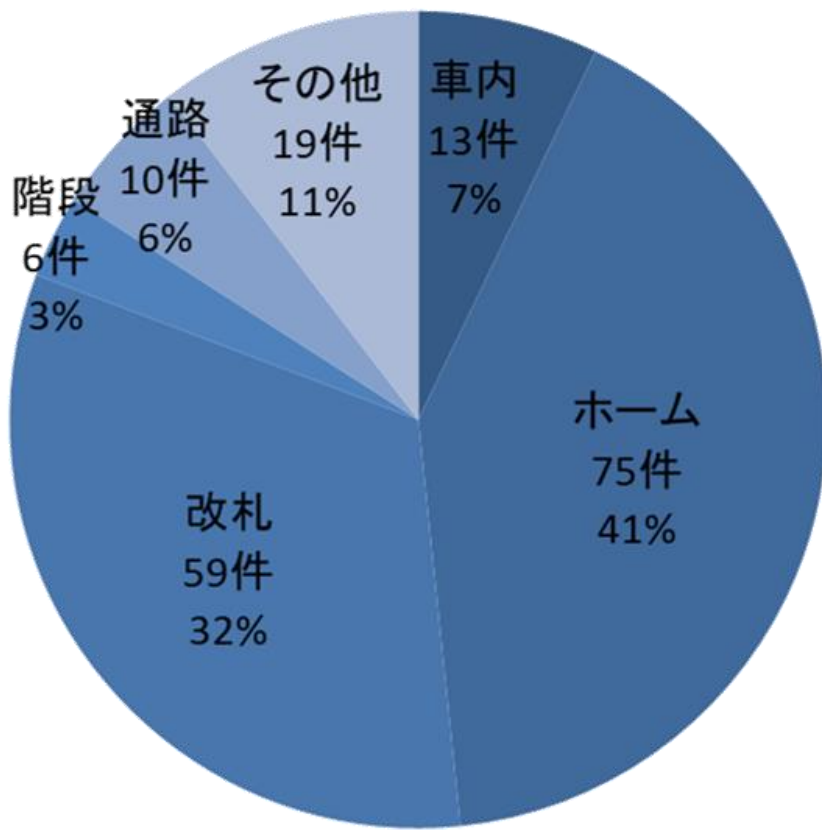


2. 時間帯別 発生件数

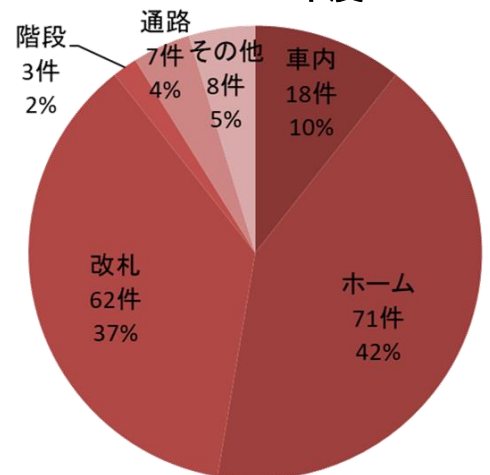


3. 主な場所別 発生件数

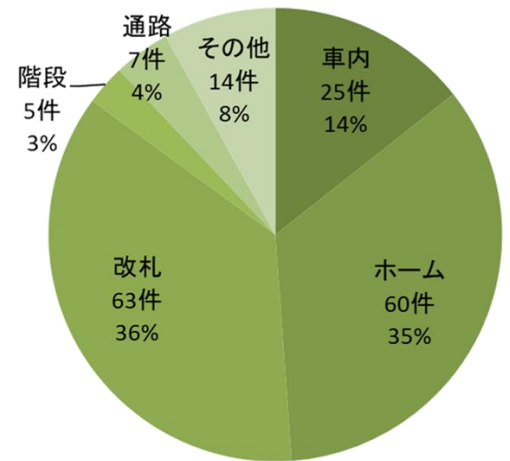
2019年度



2018年度

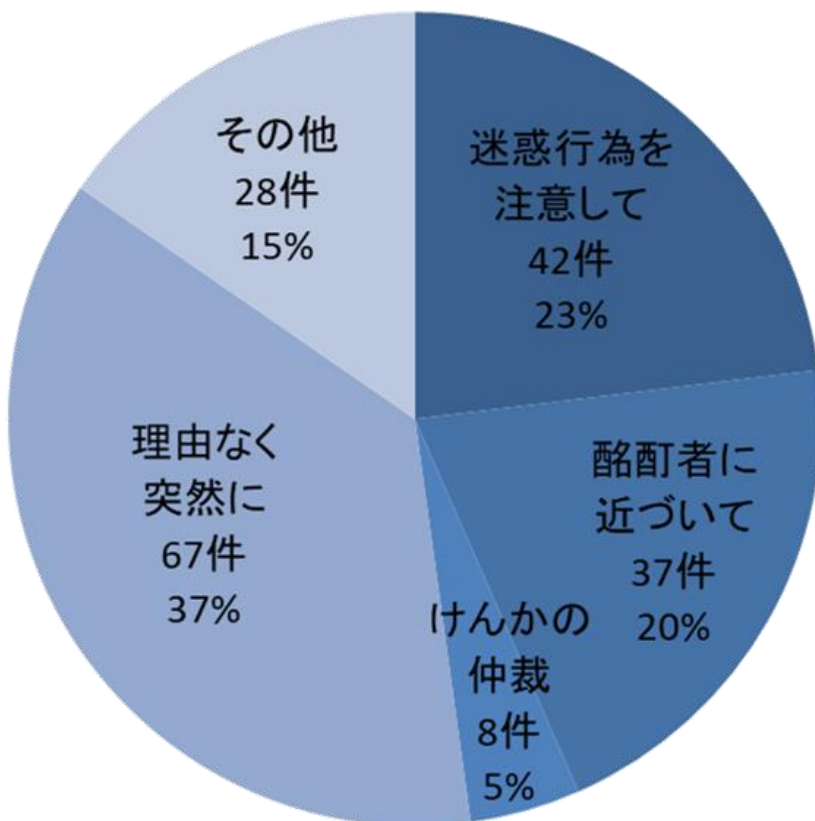


2017年度

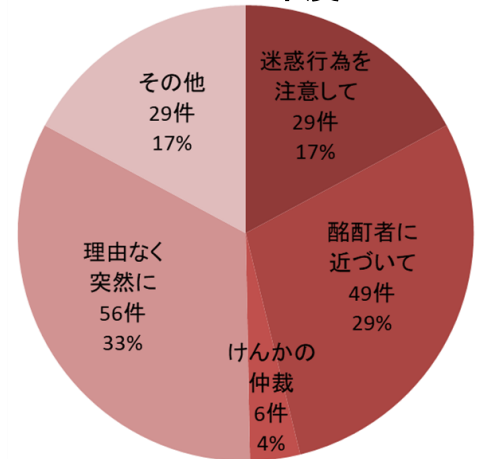


4. 主な契機別 発生件数

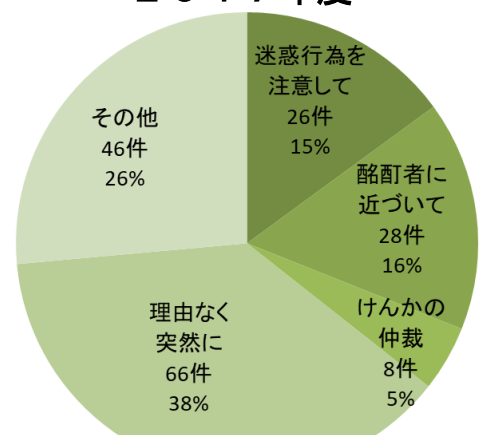
2019年度



2018年度

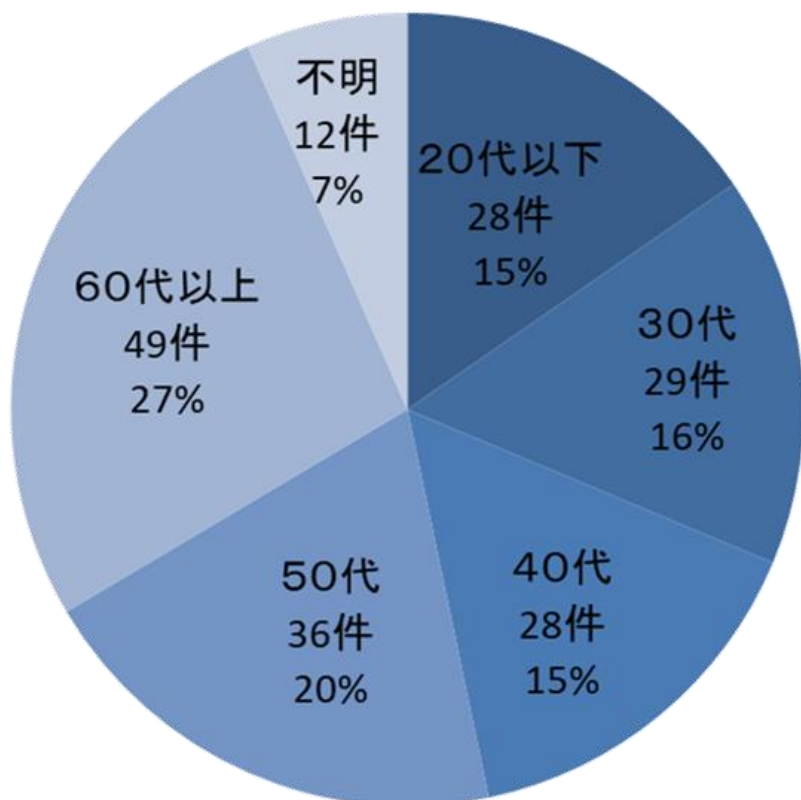


2017年度

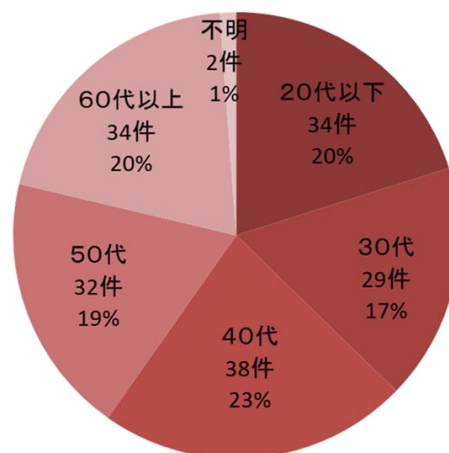


5. 加害者年齢

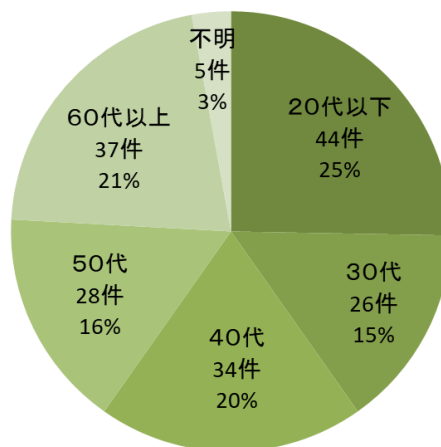
2019年度



2018年度

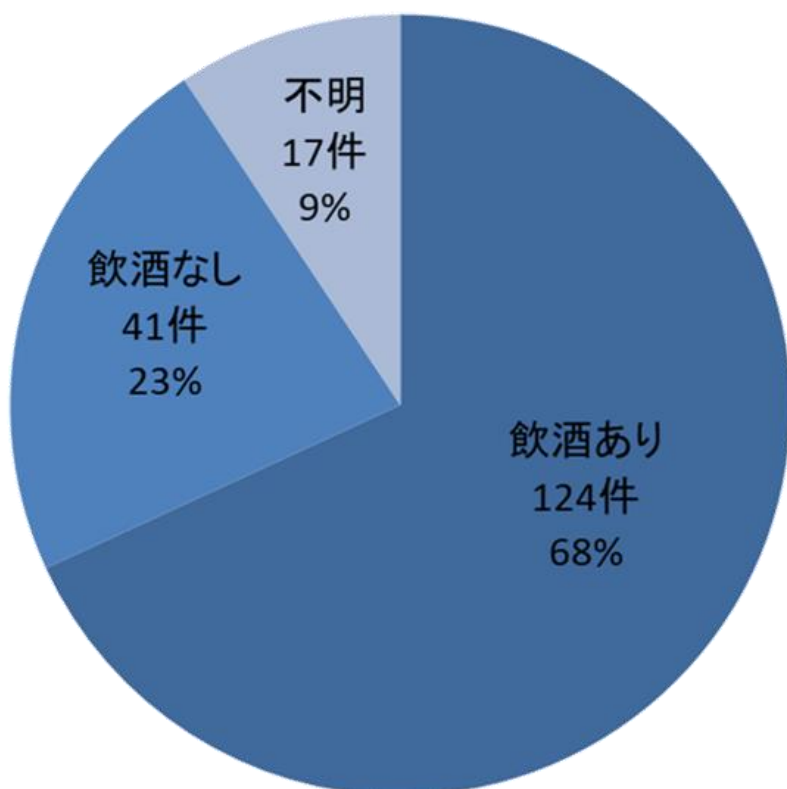


2017年度

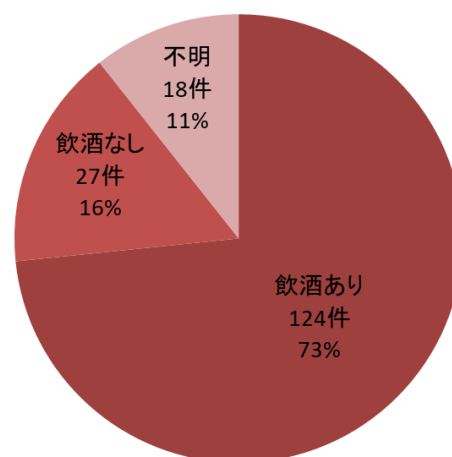


6. 加害者の飲酒状況

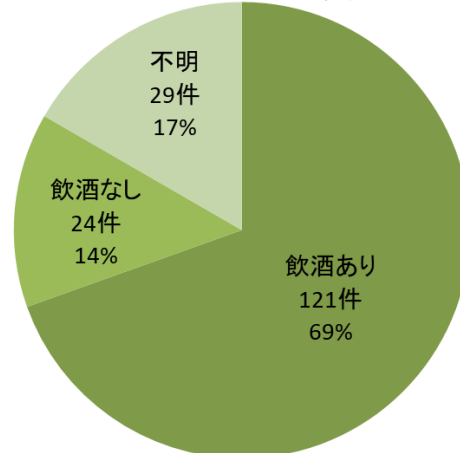
2019年度



2018年度



2017年度



7. 具体的事例

【事例1】

曜日	金曜日	時間帯	深夜（22時～終電）	場所	ホーム
契機	迷惑行為を注意して	年齢	30代	飲酒	あり

駅係員が、ホーム列車監視中に駆け込み乗車をした加害者を注意したところ、胸ぐらをつかまれ、その勢いのまま後方の柱に押し倒され、負傷した。

【事例2】

曜日	日曜日	時間帯	夜（17時～22時）	場所	ホーム
契機	酩酊者に近づいて	年齢	60代	飲酒	あり

駅係員は、改札口にて泥酔した加害者を発見したため、ホームまで見届け、到着した列車を案内した。すると、突如激高した加害者に殴り掛かかれ右手小指を強打、その後、転倒しそうになった加害者を庇って共に倒れ込んだ際、左わき腹を蹴られ、さらに馬乗りになり左右の顔面を4発殴打され受傷した。

【事例3】

曜日	日曜日	時間帯	日中（9時～17時）	場所	改札
契機	理由なく突然に	年齢	70代	飲酒	あり

駅係員が改札勤務中、利用者が酩酊した加害者から暴力行為を受けたとの申告を受け、事情を伺っていた。その最中に、加害者がカップ酒の中身を窓口に撒き散らし暴れ始めたため、駅係員が通路にて、加害者を取り押さえようとしたところ、右頬部及び右肩部を殴打された。

【事例4】

曜日	日曜日	時間帯	日中（9時～17時）	場所	車内
契機	迷惑行為を注意して	年齢	30代	飲酒	なし

列車内で乗車マナーについてお願いしたところ、後ろから体当たりされ、さらに屈んだ際に背後から蹴られた。その後加害者に制止を促した際、上着の左袖を引っ張られて制服が縦に約70cm裂けた。

以上